

お金の「知恵」を みにつけよう

Vol.47

知ってますか？ 今、日本では
毎年3兆円以上の積立投資を
現役世代がやっています

つみたてNISAとiDeCo(個人型確定
拠出年金)は、現役世代が中心となって利用す
る資産形成制度です。今、これらを中心にして
「積立投資」の流れが広がっています。

新聞報道によると証券会社等を経由して
の投資信託購入が年2兆円以上あるそうで、
その多くはNISA制度を活用しています。
また、筆者の推計では確定拠出年金を経由し
ての投資信託購入が年1兆円前後あり、これ
らを合わせると年3兆円の積立ペースです。

今まで投資と言えば、富裕層の高齢者が
老後の遊びとしてたしなむイメージがあり
ました。彼らは短期的に売買を繰り返した
ものですが、今は「現役世代」が「長期積立投
資」をする時代に移行しつつあるようです。

資産形成の王道「積立」は
投資にも当てはまるし、
むしろ投資に向いている

みなさんの多くが、ろうきんなどで積立定

期預金をしていると思います。結婚資金や車
の購入資金づくり、子どもの学費準備や住宅
購入資金確保など、未来のお金の必要性を感
じて、少額から定期的に貯蓄をすることは資
産形成の王道です。

積立定期預金にはたくさんのメリットがあ
ります。「ゼロからスタートできること」「毎
月は少額でもいいこと」「自動的に引き落し
され確実に増えること」などです。

実はこれ、定期預金だけに限らず、投資に

日本人に 向いている？ 投資を積立で やってみよう

おいても王道のやり方です。

iDeCoやつみたてNISAを開設する
にあたって、100万円のようなまとまった
資金を入金することは必要ありません(そも
そもできません)。毎月の積立額は法令の上
限があったりしてむしろ少額で始めるよう
になっています。

iDeCoもつみたてNISAも、毎月指定
日に一定額を自動引き落します。自分で入金
に行くような手間もなく、また入金をサボって

しまうようなこともありません。

短期的には値下がりすることもあります
が、中長期的には経済の成長がある限り、投資
のリターンはプラスになります。むしろ一時
的な値下がり時期の積立投資は、高い利回り
を生み出す力となります。

考えてみると、投資こそ積立が向いている
と言っているくらいです。

少額でもいい、毎月ちよつとずつ
積立投資をしてみよう

iDeCo、つみたてNISA、会社の企業
型確定拠出年金制度のマッチング拠出(実施
している場合)などは、積立投資を行う仕組み
ですが、税制優遇のメリットがありますから、
さらにお得に資産形成が行えます。

いずれの制度も運用収益は非課税です。
さらに確定拠出年金制度は所得税や住民税を
課税されないメリットもあるため、お得度は
高いものとなっています。NISAが話題と
なっていますが、iDeCoの加入も同時に
検討してみましょう。

なお、資産形成のための運用資金をすべて
投資につぎ込む必要はまったくありません。
「半分は積立定期預金、半分はiDeCoや
NISA」のように振り分けてもいいのです。
iDeCoには定期預金商品等も含まれて
いるので、iDeCo内で投資信託と定期預
金を組み合わせることもできます。

積立定期預金と積立投資、自分なりにリス
クを抑えながら上手に活用してみたいところ
です。

ぜひ、毎月ちよつとずつでも
いいので積立投資をしてみてく
ださい。積立定期がそうである
ように、何年かたったとき「思っ
たより増えていた！」と喜ぶこと
になるはずです。



◆プロフィール
山崎 俊輔(やまさき しゅんすけ)

・AFP(2級FP技能士) ・消費生活アドバイザー
・投資教育家 ・年金教育家

YouTubeチャンネル

「FPヤマサキのシャープなこんにやくチャンネル 山崎俊輔」
<https://www.youtube.com/@FPyam>